

# 住民基本台帳の閲覧状況の公表

住民基本台帳の閲覧制度は、住民基本台帳法の改正により、毎年1回以上閲覧状況を公表することが義務付けられています。(平成18年11月1日施行)  
これにもとづき、下記のとおり閲覧状況を公表します。



期間 平成19年11月1日～平成21年3月31日

## 各項目の説明

- ①閲覧者(受託者の名称・代表者氏名) ②委託者 ③請求事由の概要(閲覧目的)
- ④閲覧にかかる住民の範囲 ⑤閲覧件数 ⑥閲覧した地域

### 【閲覧日】平成20年6月4日

- ①(社)中央調査社・若林清造
- ②独立行政法人国立病院機構 久里浜アルコール症センター
- ③「飲酒と生活習慣に関する調査」対象者抽出のため
- ④20歳以上の男女
- ⑤25件
- ⑥土佐山田町北本町

### 【閲覧日】平成20年11月27日

- ①(社)中央調査社・中田正博
- ②大学共同利用機関法人 情報・システム研究機構 統計数理研究所
- ③「国民性に関する意識動向(2008年度)調査」対象者抽出のため
- ④16歳以上79歳以下の男女個人
- ⑤32件
- ⑥土佐山田町楠目

### 【閲覧日】平成20年10月2日

- ①(社)新情報センター・平谷伸次
- ②独立行政法人国立国語研究所
- ③「生活のための日本語全国調査」対象者抽出のため
- ④20歳以上79歳以下で男女を問わず
- ⑤25件
- ⑥土佐山田町東本町1・2・3丁目

### 【閲覧日】平成20年12月2日

- ①(株)日経リサーチ・園本雄司
- ②日本銀行情報サービス局
- ③「生活意識に関するアンケート調査(第37回)」対象者抽出のため
- ④20歳以上の男女個人
- ⑤15件
- ⑥物部町大栃近辺



## ◆一般投稿作品◆ 広報委員会 選

黍あらし胸の虚ろを吹き抜ける  
万緑のかぶさる如き峡の道  
滝壺に涼とるハイカー旅装解く  
くちなしのほのかな香り白き色  
帰省子に昔のままの清き川  
虫送り老に大儀な轆轤  
タオルケット一枚足して夜の秋  
シソと瓜揉んで朝餉の仕度かな  
撫子を純愛と知り撫でてみる  
ちちろ鳴く枕の空にさとの夢  
ツクツクと鳴く法師蟬背に負いて  
四季咲きのバラの枝切り梅雨の朝  
あの場所に母校消えゆく秋時雨  
対岸の暮らしの見ゆる柚子畑

## ◆かがみ野俳句会◆

おはぐろの水舐めなめつ影曳ける  
雨もよひ虫袋の重く垂れ  
夏休み宿題困む祖父母かな  
爽籟や厨口より皿の音  
やさしき灯さみしき灯り軒燈籠  
海に向き開く改札夏つばめ  
盆用意嫁に伝えて安堵する  
結び目をとけばさやさや秋の風  
父の忌を修し終へたるちちろの夜

佐竹 洋子  
佐藤 幸  
利根 弘子  
古川 信子  
小松 愛子  
中澤 美晴  
森本 健代  
山崎 鈴子  
吉田 芳

スタスタと男来て去る夜の秋  
大杉が歴史を刻む夏の寺  
賜高音西よりくずれ空模様  
八朔や友の生活を知る俳誌  
すてこや妻は「いきいき体操」に  
CDの銀盤郷の鳥威し  
地に降りて鴉一羽や晩夏光  
花臭木ダムに沈みし夫婦岩  
三角標に置く手涼しや木曾の山  
斧ひとつ失せても闘志いぼむしり

## ◆かほく俳句会◆

川尻に魚よく跳ねて涼新た  
蟬時雨身内に燃ゆる何もなく  
稲育つ水にも邑の掟あり  
また元の一人に戻る盆の月  
つかぬ運笑ひとばして虫の闇  
菜園に日付け確かめ西瓜採る  
瓜揉みにするとナイラゲ頼まれし  
夫婦句碑建て金婚の秋高し  
汗の手に残るミントの香りかな  
黍の穂や携帯電話圏外に  
美人には美人の仕草汗拭ふ  
穂孕みの香を纏ひ行く棚田径  
合はせ酔の分量しかと秋立てり  
大西日音のゆるみし時計鳴る  
老夫婦山家が好しと鳳仙花  
刈り捨てし射干に咲き継ぐ命  
ジョーク云ふ汗のビー玉転がして  
首振り拒む旧型扇風機

公文 春紀  
岡本かほる  
高橋 章  
篠崎 亜希  
北村 幸子  
甲藤 卓雄  
野崎 典子  
北村 里子  
明石 英子  
竹内 草  
乾 真紀子  
奥宮さとみ  
黒岩 幸女  
黒岩千英子  
小松志津男  
小松 完  
小松 隆之  
小松 昇  
杉山 春萌  
野村 里史  
前田 欣一  
前田 秀女  
間崎 和代  
森本 之子  
山崎かずみ  
山中 晶子  
山中 瑞輝  
山中 明石

# 吉井勇記念館だより

## 菊花展

香美市在住の菊愛好家が丹精込めて育てた菊花を展示します。大輪菊を中心に、色鮮やかな菊花が、皆さんをお迎えします。

また、菊にちなんだ勇の短歌をはじめ、美しく花を咲かせるための年間作業をパネルで紹介いたします。ぜひご来館ください。

【期間】10月28日(水)～11月3日(火) 終日

【場所】吉井勇記念館敷地内

## 山里の秋 —秋のお茶会—

上記、菊花展開催中の日曜日にお茶を楽しんでいただけます。お抹茶で一息ついて、ゆっくりと菊花を觀賞してください。

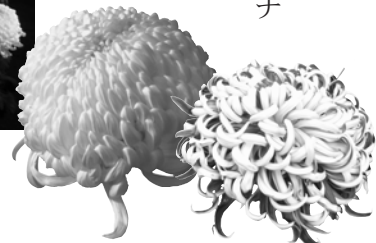
【日時】11月1日(日) 13時～16時

【場所】吉井勇記念館アーチ

【料金】一服200円

【問い合わせ先】市立吉井勇記念館

☎5812220



## ◆土佐山田町俳句会◆

かたつむり今日の予定を考える  
夕すげや退院といふ別れあり  
死に木とは西日の選ぶ木なりけり  
対岸の人と向き合ひ鮎を釣る  
喧嘩してやわらかくする水よっかん  
皆老いてあの日を語る終戦日  
醉芙蓉朝の白無垢夜の妖艶  
カバンに花図鑑時化は沖通る  
風と来しおはぐろとんぼが添寝する  
新茶汲む一本長き寿眉  
真空管一本代米一俵敗戦日  
生身魂骨ある魚は慎むべし  
明け方の夢の水色夏探し

## 今月のキラリ

かたつむり今日の予定を考える  
のんびりしている『かたつむり』に目をつけたところが面白い。かたつむりは作者のこ  
とか?

## 俳句・短歌の投稿方法

▼投稿方法は自由。(ただし、ハガキで投稿の場合、一人一枚のハガキで5句(首)以内)  
▼かい書で、住所、氏名、電話番号を必ず明記してください。  
▼俳句は偶数月、短歌は奇数月に掲載します。掲載月の前月の1日までに投稿してください。  
▼誌面の都合により掲載されない場合があります。なお、選者の添削を不要とする方は添削不要と記してください。

【投稿先】企画課内広報委員会事務局「俳句・短歌係」

〒782-8501(住所記載不要) FAX 53-5958